

課題解決力を育む授業づくり

八幡小学校長 安藤 正弘

吉舎中学校区の研究テーマは「自学力の育成」です。「自学力」を育成するために、「課題解決力」を育む授業づくりの研究を進めています。

これまでは、「何を知っているか」という知識を重視する学び（授業）が中心でした。しかし、変化の激しいこれからの社会に必要な資質・能力は、知識の習得に加え、「知識を活用し、協働して新たな価値を生み出す」力が必要とされます。授業の中で、獲得した知識を活用しながら「問題解決する力」を育てることがとても大切になります。課題をつかみ、見通しを持ち、自ら課題に取り組む、解決していく活動を授業に取り入れることが「課題を解決する力」を育てます。また、課題を解決するとき、ペア学習、グループ学習など協働して課題を解決することでコミュニケーションの力が育ち、「課題が解決できた」という喜びを感じることで成就感を持ちます。そして、「次もやってみよう」というワクワク、ドキドキした気持ちが育ちます。これがめざしている「課題解決力を育む授業づくり」であり、「自学力の育成」につながります。



解決策を考える

進んで調べる



小中合同授業研修会

伸ばそう子供たちの自学力！

7月2日（水）八幡小学校において算数科の授業研修会を開催しました。

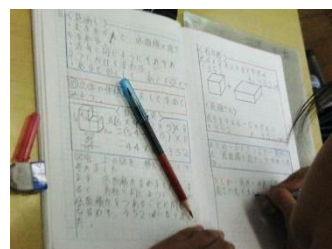
5・6年生の授業を町内の小中学校の職員が集まり、参観させていただきました。各学年の算数科のリーダーが中心になって、自分の考えをまとめ、発表していました。自分たちが学習を進めていくという自学の力がかなり身につけていると感じました。（「きさ」小中一貫教育推進協議会事務局）

考える力を育むために

- まちがうことを恐れさせずに、どんな意見も全体で共有し、その中からまちがいを修正させる。
- 考えを出し合うことの楽しさを実感させる。
- 子供たちの「わかった！」をしっかりと確認する。



授業風景



整理されたノート



研究討議